

相続税の修正申告書 (続)

第1表 (続)

←この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合)は、(参考)を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません)。

(注) ②欄の金額が赤字となる場合は、②欄の左端に△を付してください。なお、この場合で②欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑨)があるときは②欄の金額については「相続税の申告のしかた」を参照してください。

フリガナ		財産を取得した人			財産を取得した人					
氏名		参考として記載している場合 参考			参考として記載している場合 参考					
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄としここから記入してください。			↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄としここから記入してください。					
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)			年 月 日 (年齢 歳)					
住所 (電話番号)		〒 (- -)			〒 (- -)					
被相続人との続柄	職業									
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与					
※整理番号		□□□□□□□□			□□□□□□□□					
区分		① 修正前の課税額			② 修正正額			③ 修正する額 (②-①)		
課税価格の計算	取得財産の価額(第11表③)	①	円	円	円	円	円	円		
	相続時精算課税適用財産の価額(第11の2表1⑦)	②								
	債務及び葬式費用の金額(第13表3⑦)	③								
	純資産価額(①+②-③) (赤字のときは0)	④								
	純資産価額に加算される 暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤								
	課税価格(④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥	,000	,000	,000	,000	,000	,000		
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び 遺産に係る基礎控除額	/								
	相続税の総額	⑦	/							
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	あん分割合 (各人の⑥) (A)	⑧							
		算出税額 (⑦×各人の⑧)	⑨	円	円	円	円	円	円	
	農地等納税 猶予を受ける場合	算出税額 (第3表 ⑬)	⑩							
相続税額の2割加算が行われる 場合(第4表⑦)	算出税額 (第3表 ⑬)	⑪	円	円	円	円	円			
各人の納付・還付税額の計算	税額控除	暦年課税分の 贈与税額控除額 (第4表の2⑳)	⑫							
		配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)	⑬							
		未成年者控除額 (第6表1②、③又は④)	⑭							
		障害者控除額 (第6表2②、③又は④)	⑮							
		相次相続控除額 (第7表⑬又は⑭)	⑯							
		外国税額控除額 (第8表1⑧)	⑰							
		計	⑱							
	差引 (⑨+⑱-⑩)又は(⑩+⑱-⑨) (赤字のときは0)	⑲								
相続時精算課税分の 贈与税額控除額 (第11の2表1⑤)	⑳	00	00	00	00	00				
医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	㉑									
小計(⑲-⑳-㉑) (黒字のときは100円未満切捨て)	㉒									
納税猶予税額 (第8の8表⑧)	㉓	00	00	00	00	00				
申告納税額 (㉒-㉓)	㉔	00	00	00	00	00				
申告期限までに 納付すべき税額 還付される額	㉕	△	△	△	△	△				

○この申告書は黒ボールペンで記入してください。

※の項目は記入する必要はありません。

※税務署整理欄	年分	名簿番号	補完番号	補完番号
	検算	管理補完	確認	管理補完